

2018年4月16日

関係者各位

独立行政法人国立科学博物館
植物研究部 細矢 剛

第31回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会の開催について
(案内)

平素より自然史標本データ整備事業にご協力下さり、ありがとうございます。

第31回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会を下記のとおり国立科学博物館で開催します。

多くの皆様のご参加をお待ち致しております。ご参加いただける場合は、5月7日(月)までにメールで下記担当までお名前、ご所属をご連絡ください。

記

日時：2018年5月14日(月) 13時30分～17時(13時開場)

場所：国立科学博物館 上野本館 日本館4階大会議室

<http://www.kahaku.go.jp/userguide/access/index.html>

主催：国立科学博物館

協力：NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク

プログラムは別紙をご覧ください

本件に関する連絡先

国立科学博物館

細矢 剛・安田 敦子

電話：029-853-8277 E-mail：s-net_info@kahaku.go.jp

第31回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会
『新しくなった S-Net の紹介とデータ提供』

日時：2018年5月14日 13:30-17:00

場所：国立科学博物館 上野本館 日本館4階大会議室

サイエンスミュージアムネット（S-Net）システムは本年4月にインターフェイスが大幅に一新され、かなり使い勝手が向上したものと自負しています。また、データ項目などについても大幅に改訂を行いました。これらの変化は、利用者にとっても、データ提供者にとっても、大きな変化であると考えられます。また、システム更新にトラブルはつきものです。更新の初期段階でこれらのトラブルや使い勝手に関する意見を収集することが大切です。そこで、今回は、科博と担当者さんからの説明と利用者との間の意見交換を中心としたものにしたく思います。これにより、現場の利用者のご意見を聴取し、利活用を推進することを目的とします。

= プログラム (案) =

- 13:30-13:40 趣旨・背景説明
細矢 剛（国立科学博物館）
- 13:40-14:40 新 S-Net システムの説明
神保 宇嗣・水沼 登志恵（国立科学博物館）
吉田 勇二（インフォコム（株））
- 14:40-15:00 休憩
- 15:00-16:00 変換ツールの使用とデータ提供
水沼 登志恵（国立科学博物館）
- 16:00-16:30 S-Net の利用事例の紹介
未定
- 16:30-17:00 総合討論～S-Net の利活用を推進するために～

なお、今年度は、協力機関（及び、参加をお考えの方）向けの説明会を北海道・東北・関西・九州の各地区で開催する予定です。